

## 第10章

# 楽しみ方を大きく広げてくれるパートナー アマチュア無線における コンピュータの活用

7J3AOZ 白原 浩志 Hiroshi Shirahara

20数年前はマニアの趣味の対象にすぎなかったパーソナル・コンピュータ(以下PC)ですが、日常的に仕事や趣味に活用される道具として普及しました。もちろん、アマチュア無線でもさまざまな分野でPCが活用されています。

この章では、アマチュア無線におけるPCの活用シーンをいろいろ紹介します。

### 10-1 アマチュア無線業務における事務処理への利用

交信記録(ログ)の入力、QSLカードの発行・受領の管理、また局免許の各種申請書類の作成など、アマチュア無線は意外と事務処理の多い趣味です。「多目的文房具・情報処理装置」としてのPCがもっとも得意とするこの分野では、アマチュア無線用のさまざまなソフトウェアがインターネット上で公開され、多くのアマチュア無線家に活用されています。また、アマチュア無線局免許の各種申請手続きは、日本でもインターネット経由で行えるようになりました。

#### 10-1-1 電子交信記録(ログ)ソフトウェア

アマチュア無線家にとってもっとも身近な事務処理はログ(交信記録)の入力作業でしょう。この分野では、ログをリアルタイムに入力し、過去の交信記録を瞬時に呼び出すことができる電子ログ・ソフトウェアを、世界中のアマチュア無線家が利用しています(図10-1)。この種のソフトウェアの多くに、データベース化された交信データを利用した交信記録検索、各種アワードの自動集計、QSLカードやSASE貼付用ラベルの印刷、QSLカードの送付・受領管理などのさまざまな機能も備わっており、アマチュア無線家の事務処理の負担を大きく軽減しています。

また、最近では、PCによる無線機の制御(交信周波数のログへの自動入力、周波数の自動セットなど)、アンテナ・ローテーターの自動制御(入力したコールサインより方向を計算し、アンテナの方向を自動的に変える)、PCのサウンド機能を使ったボイス・メモリ、CWメモリ・キーヤー、DXクラスターからの自動情報取得、インターネット上から交信相手局の情報を取得する機能など、多種多様な機能が備えられ、アマチュア無線運用総合ソフトウェアといえるものが増えてきています。

#### 10-1-2 QSLカード印刷

アマチュア無線業務の事務処理で、もっとも手間と時間がかかるのがQSLカードの印刷・発行ではないでしょうか。多くの電子ログ・ソフトウェアにはQSLカードの印刷機能が搭載されています。また、QSLカード印刷に特化したソフトウェアも公開・頒布されています。QSLカード印刷専用のソフトウェ